

令和5年8月22日

[令和5年度 県立上溝高等学校 第1回学校説明会]

神奈川県立上溝高等学校
校長 内田 勝久

学校長あいさつ

- 皆さま、おはようございます。(こんにちは。) 県立上溝高等学校 校長の内田です。
本日は、酷暑が続く夏休みの中、上溝高等学校 第1回学校説明会にご参加いただき、まことにありがとうございます。
まず、開式に先立ちまして、部活動紹介の映像を、そしてダンス部生徒の演技をご覧いただきました。
本校自慢の生徒たちです。
- 5月8日にコロナが5類に分類されて以降、感染防止に留意しながらではありますが、高等学校の現場も、だいぶコロナ禍前に近い教育活動ができるようになりました。
今年度は、6月の全公立展、8月9日の相模原地区公私合同説明会も実施されました。本校では夏季休業期間の11日間に、学校見学会を午後の時間帯に実施しており、昨日までに245名の方に参加いただいております。
- 学校の概要については、お配りした「令和5年度 学校案内」のパンフレットをご覧ください。
学校の設置は、明治44年(1911年)5月です。歴史のある県立高等学校となります。
今年度、4月6日に第78回入学式を行い、78期生6クラス242名の新入生を迎えました。
2年生6クラス237名、3年生6クラス233名おり、8月1日現在、711名の生徒数となります。
・全日制、普通科。 ・3学期制。55分授業です。 ・平成27年3月に落成した校舎。
・一足制。
- 校長として、生徒は「宝」、職員は「県の大切な財産」と意識しながら、学校経営を行っています。職員にいつもお願いしていること、それは、
- ①「宝」である生徒のことは、「さん付け」で呼んでほしい。呼び捨てではないということです。
男子は「くん」、女子は「さん」でなく、すべての生徒を「さん付け」呼称してほしい。
高校でも依然として、生徒の名を呼び捨てにすることがあります。少しずつ改善していきたい。
 - ②生徒には、「わかりやすい授業」をしてください。
 - ・黒板は、上下に可動する、方眼のマスの目のはいった黒板です。蛍光チョークも使用しています。
 - ・すべての教室に短焦点のプロジェクターとスクリーンも配備しています。
 - ・黒板には、余計な掲示物を貼らない、掲示物は掲示板にというフロントゼロも意識しています。
 - ・「生徒一人1台端末」を使っての授業が円滑に進められるよう、WiFi環境も整備しています。
 - ③生徒を「誉めて育ててほしい」ということ。誉められて悪い気はしません。
誉められることで、人は成長します。誉められることで、自信がつけます。
自己肯定感を伸ばしたい。
- コロナ禍で、学校現場が進んだこと、それはどのような状況下でも生徒の学びをとめないということです。コロナ禍ではGoogle classroom等を利用して課題の伝達や、授業のオンライン配信等を実施しました。さきほども触れましたが、教室にプロジェクターとスクリーンがあります。全校集会等も暑さや寒さで体育館の使用を懸念する場合には、教室でオンラインによる始業式や終業式を実施しています。
- 私から最後になりますが、中学3年生の皆さまにお伝えしておきたいこと。
「進路選びは、とても大切です。」
 - ・いろいろな情報を集めてください。
 - ・行きたい学校は、必ず見学してください。
 - ・担任の先生、保護者と話し合ってください。上溝高校は、9月3日(日)9時30分から14時30分(受付は14時までですが)まで 本校の文化祭である「上高祭」があり一般公開されます。
10月28日(土)には、上溝高校のオープンスクールが予定しており、教室等での実際の授業の様子を見ていただけます。
ぜひ、生徒や職員の様子も見ていただき、本校を志願していただきたいと期待しています。
以上で、学校長あいさつといたします。